

※※ 劇薬

※日本薬局方 カフェイン水和物

# カフェイン「ヒシヤマ」

CAFFEINE

貯法：密栓し、室温保存  
使用期限：容器等に記載  
注意：「取扱い上の注意」参照

承認番号	16000AMZ01786
薬価収載	1965年11月
販売開始	1965年11月
再評価結果	1998年3月

## 【組成・性状】

### 1. 組成

販売名	カフェイン「ヒシヤマ」
有効成分 (1g中)	日本薬局方 カフェイン水和物 1g

### 2. 製剤の性状

性状	白色の柔らかい結晶又は粉末で、においはなく、味はやや苦い
----	------------------------------

## 【効能・効果】

ねむけ、倦怠感、血管拡張性及び脳圧亢進性頭痛（片頭痛、高血圧性頭痛、カフェイン禁断性頭痛等）

## 【用法・用量】

カフェイン水和物として、通常成人1回0.1～0.3gを1日2～3回経口投与する。  
なお、年齢、症状により適宜増減する。

## 【使用上の注意】

### 1. 慎重投与（次の患者には慎重に投与すること）

- 胃潰瘍又はその既往歴のある患者〔胃液分泌を促進するため、悪影響を及ぼすおそれがある。〕
- 心疾患のある患者〔徐脈又は頻脈を起こすことがある。〕
- 緑内障の患者〔症状が悪化するおそれがある。〕

### 2. 相互作用

併用注意（併用に注意すること）

薬剤名等	臨床症状・措置方法	機序・危険因子
キサンチン系薬剤 ・アミノフィリン ・ジプロフィリン ・テオフィリン等 中枢神経興奮薬	過度の中枢神経刺激作用があらわれることがある。	これらの薬剤の代謝・排泄を遅延させることがある。
モノアミン酸化酵素阻害剤（MAO阻害剤）	頻脈、血圧上昇等があらわれることがある。	機序不明
シメチジン	過度の中枢神経刺激作用があらわれることがある。	本剤の代謝・排泄が遅延することがある。

### 3. 副作用

本剤は、副作用発現頻度が明確となる調査を実施していない。

種類\頻度	頻度不明
大量投与	振戦、不整脈、虚脱、めまい、不眠、不安、瞳孔散大等

### 4. 高齢者への投与

一般に高齢者では生理機能が低下しているので、減量するなど注意すること。

### 5. 妊婦、産婦、授乳婦等への投与

妊婦又は妊娠している可能性のある婦人及び授乳婦には、長期連用を避けさせること。〔胎盤を通過し、また、母乳中に容易に移行する。〕

### 6. 過量投与

#### 1) 徴候、症状

消化器症状（悪心、嘔吐等）、循環器症状（不整脈、血圧上昇等）、精神神経症状（痙攣、昏睡）、呼吸器症状（呼吸促進、呼吸麻痺等）等の増悪を起こすことがある。

#### 2) 処置

胃洗浄や吸着剤・下剤の投与により薬物を除去し、輸液等により排泄促進を行う。また、興奮状態には対症療法としてジアゼパム注、フェノバルビタール注等の中枢神経抑制薬投与を考慮し、呼吸管理を実施する。

## ※※【薬効薬理】

大脳皮質を中心に中枢神経系を興奮、脳幹網様体の賦活系の刺激により知覚が鋭敏となり精神機能が亢進する。心に直接作用して心筋の収縮力を増強させ、また冠動脈を拡張させる。また、脳細動脈に直接作用して脳血管を収縮させ、その抵抗性を増加して脳血流量を減少する。腎に対し糸球体の輸入血管拡張と尿細管への直接作用によりNa<sup>+</sup>及びCl<sup>-</sup>の再吸収を抑制して利尿作用を示すが、テオフィリンより弱い。<sup>1)</sup>

## ※【有効成分に関する理化学的知見】

一般名：カフェイン水和物（Caffeine Hydrate）

別名：カフェイン

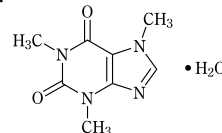
化学名：1, 3, 7-Trimethyl-1*H*-purine-2, 6-(3*H*, 7*H*)-dione monohydrate

分子式：C<sub>8</sub>H<sub>10</sub>N<sub>4</sub>O<sub>2</sub>・H<sub>2</sub>O

分子量：212.21

融点：235～238℃（乾燥後）

構造式：



性状：白色の柔らかい結晶又は粉末で、においはなく、味はやや苦い。

- クロロホルムに溶けやすく、水、酢酸（100）又は無水酢酸にやや溶けにくく、エタノール（95）に溶けにくく、ジエチルエーテルに極めて溶けにくい。

- 1.0gを水100mLに溶かした液のpHは5.5～6.5である。
- 乾燥空气中で風解する。

※【取扱い上の注意】

1. 開封後の注意

乾燥空気中で風解するので、密栓して保存すること。

※2. 安定性試験

最終包装製品を用いた長期保存試験〔室温（1～30℃）、4年間〕の結果、外観及び含量等は規格の範囲内であり、カフェイン「ヒシヤマ」は通常の市場流通下において4年間安定であることが確認された。<sup>2)</sup>

【包 装】

500g

※※【主要文献】

- 1) 第十五改正日本薬局方解説書
- 2) ニプロファーマ（株）：社内資料（安定性試験）

※【文献請求先・製品情報お問い合わせ先】

主要文献欄に記載の社内資料につきましても下記にご請求下さい。

ニプロファーマ株式会社 製品情報室  
〒541-0045 大阪市中央区道修町2丁目2番7号  
☎ 0120-226-898  
FAX 06-6231-9849